

資料提供年月日	平成31年1月22日	
問い合わせ先	課名	文化振興課
	電話	直通 803-1054 内線 3743
	担当 (職・氏名)	課長 佐藤 副主幹 上林 副主査 笠原

広報連絡 〈市長定例記者会見資料〉

- 1 件 名 第34回「坪田譲治文学賞」の受賞作決定について
- 2 趣 旨 岡山市出身でわが国の児童文学に多大な功績をのこした故・坪田譲治氏（岡山市名誉市民）をたたえる「坪田譲治文学賞」の本年度の受賞作決定について発表します。
- 3 受賞作 『ペンギンは空を見上げる』 東京創元社
八重野 統摩（やえの とうま）著
- 4 選考経過 平成29年9月1日から30年8月31日までの1年間に、全国で刊行された小説・児童文学等の中から、小説家・児童文学者等から推薦された91作品について、予備選考会を経て候補作5作品を選定しました。
これらを平成31年1月17日（木）開催の選考委員会において審査し、上記の作品が選ばれました。
- 5 贈呈式・記念行事
○日 時：平成31年2月23日（土）14：00～16：00
○場 所：ノートルダム清心女子大学（北区伊福町二丁目16-9）
- 6 問い合わせ先
岡山市文学賞運営委員会事務局
〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 岡山市文化振興課内
TEL：086-803-1054 FAX：086-803-1763
E-mail：bunkashinkou@city.okayama.lg.jp

[添付資料]

- 資料1 第34回「坪田譲治文学賞」受賞作について
- 資料2 「坪田譲治文学賞」について
- 資料3 「坪田譲治文学賞」受賞作一覧
- 補足資料 取材について

第 3 4 回「坪田譲治文学賞」受賞作について

(文中敬称略、50音順)

受賞作	『ペンギンは空を見上げる』 東京創元社
受賞者	八重野 統摩 (やえの とうま)
正賞	賞状及び記念品 (メダル『鳥の少年』蛭田二郎作)
副賞	100万円

◆選考経過

平成29年9月1日から平成30年8月31日までの1年間(※)に全国で刊行された小説、児童文学等の中から、小説家・児童文学者等から推薦された91作品について、「大人も子どもも共有できる世界を描いたすぐれた作品」という観点で、予備選考会を経て候補作5作品を選定。

これを、平成31年1月17日(木)開催の第34回坪田譲治文学賞選考委員会(会場：東京都千代田区平河町「ルポール麹町」)で慎重に審査した結果、八重野 統摩著『ペンギンは空を見上げる』が選ばれた。

選考委員は、阿川佐和子、五木寛之、川村湊、中脇初枝、西本鶏介、森詠、森絵都の7名。

※選考の基準日は9月1日(岡山市文学賞条例施行規則第2条)

◆受賞者略歴

作家 八重野 統摩 (やえの・とうま)

1988年生まれ、北海道札幌市出身。大阪府豊中市在住。立命館大学経営学部卒業。電撃小説大賞への応募作が編集者の目に留まり、2012年に書き下ろし長編『還りの会で言ってやる』でデビューする。ミステリ仕立ての青春小説を得意とする新鋭。

◆受賞者コメント

この度は、このような大変栄えある賞に拙作『ペンギンは空を見上げる』をお選びいただき誠にありがとうございます。正直なところ、まさか受賞することはないだろうと思っておりましたので、受賞のご一報をいただいた時は本当に驚きました。本作は、小学六年生のハルが困難とともに風船での宇宙撮影を目指して努力する物語です。私もそのハルに遅れを取らないよう、坪田譲治先生のお名前を冠した賞をいただいた人間として恥じない努力を、今後も続けていきたいと思えます。

◆作品の概要

「おれはNASAのエンジニアになりたいんだ」それが彼の将来の夢。小学六年生の佐倉ハルくんは、ひとりで風船宇宙撮影を目指しています。できる限りおとなの力を借りず、自分だけの力で。そんなことくらいできないようでは、NASAのエンジニアになんて到底なれないから。意地っ張りな性格もあってクラスでは孤立、家に帰っても両親とぎくしゃくし、それでもひたすらひとりで壮大な目標と向き合い続けるハルくんの前にある日、金髪の転校生の女の子、鳴沢イリスが現れました。教室でなくなったうさぎのぬいぐるみを一緒に捜したことから、妙にイリスになつかれたハルくんの日常は、次第に賑やかなものになってゆきますが……。生きてゆくにあたって“夢”というものは、光り輝く道標でしょうか、それとも自分たちを縛る鎖でしょうか？ ハルくんの、夢と努力の物語。奮闘するこの少年を、きっと応援したくなるはずです——読み終えたあとは、もっと。

◆選考委員のコメント 中脇 初枝（小説家）

今回の選考会では、選考委員の意見が大きく分かれ、これまでの坪田譲治文学賞にはない作品が選ばれた。八重野統摩氏の『ペンギンは空を見上げる』である。受賞作には、たしかに気になるところはあったけれども、それを上回る魅力があった。風船ロケットでの宇宙撮影に挑む少年の物語で、思いがけないどんでん返しもあり、未来に希望を抱かせる。若い書き手のこれからの可能性に、大いに期待したい。

◆【参考】今後の日程

- 贈呈式・記念行事 平成31年2月23日（土）14時～16時
[岡山] ノートルダム清心女子大学 ヨゼフホール
- 祝賀会 平成31年3月20日（水）18時～19時30分
[東京] ルポール麹町

「坪田譲治文学賞」について

(文中敬称略、50音順)

岡山市出身で、わが国の児童文学に新しい分野を拓いた坪田譲治のすぐれた業績を称え、市民の創作活動を奨励し、市民文化の向上に資することを目的として、昭和59年12月に「坪田譲治文学賞」を制定しました。

◆坪田譲治文学賞

[目 的] 岡山市出身の小説家・児童文学作家で、岡山市名誉市民の坪田譲治の文学活動における偉大な業績を称え、市民の創作活動を奨励し、市民文化の向上に資する。

※坪田譲治 (つばた じょうじ)

明治23年(1890年)3月3日生～昭和57年(1982年)7月7日没

[対 象] 9月1日を基準日とし、前1年間に刊行された文学作品(小説、児童文学等)。

[選 考] 文学・出版関係者等から推薦された作品について、「大人も子どもも共有できる世界を描いたすぐれた作品」という観点で、予備選考会を経て候補作4～6作品程度を選定。その中から選考委員が最終選考を行い、受賞作を選定する。

[表 彰] 正賞 賞状及び記念品(メダル『鳥の少年』蛭田二郎作)

副賞 賞金100万円

[選考委員] 阿川佐和子、五木寛之、川村湊、中脇初枝、西本鶏介、森詠、森絵都(7名)

「坪田譲治文学賞」受賞作一覧

回次	年度	作品名	著者名	出版社名
第1回	S60	心映えの記	太田 治子	中央公論社
第2回	S61	ふたつの家のちえ子	今村 葦子	評論社
第3回	S62	ぼくのお姉さん	丘 修三	偕成社
第4回	S63	四万十川ーあつよしの夏	笹山 久三	河出書房新社
第5回	H1	身がわりー母・有吉佐和子との日日	有吉 玉青	新潮社
第6回	H2	おどる牛	川重 茂子	文研出版
第7回	H3	こうばしい日々	江國 香織	あかね書房
第8回	H4	卵洗い	立松 和平	講談社
第9回	H5	半分のふるさとー私が日本にいたときのこと	李 相琴	福音館書店
第10回	H6	オサムの朝	森 詠	集英社
第11回	H7	泣けない魚たち	阿部 夏丸	ブロンズ新社
第12回	H8	ぼくたちの<日露>戦争	渡辺 毅	邑書林
第13回	H9	ぼくはきみのおにいさん	角田 光代	河出書房新社
第14回	H10	ナイフ	重松 清	新潮社
第15回	H11	ウメ子	阿川 佐和子	小学館
第16回	H12	ニライカナイの空で	上野 哲也	講談社
第17回	H13	翼はいつまでも	川上 健一	集英社
第18回	H14	麦ふみクーツェ	いしいしんじ	理論社
第19回	H15	人形の旅立ち	長谷川摂子	福音館書店
第20回	H16	ペーターという名のオオカミ	那須田 淳	小峰書店
第21回	H17	ぎぶそん	伊藤 たかみ	ポプラ社
第22回	H18	空をつかむまで	関口 尚	集英社
第23回	H19	しずかな日々	柳月 美智子	講談社
第24回	H20	戸村飯店青春100連発	瀬尾 まいこ	理論社
第25回	H21	トーキョー・クロスロード	濱野 京子	ポプラ社
第26回	H22	おれのおばさん	佐川 光晴	集英社
第27回	H23	鉄のしぶきがはねる	まはら 三桃	講談社
第28回	H24	きみはいい子	中脇 初枝	ポプラ社
第29回	H25	世界地図の下書き	朝井 リョウ	集英社
第30回	H26	クリオネのしっぽ	長崎 夏海	講談社
第31回	H27	いとどの森の家	東 直子	ポプラ社
第32回	H28	Masato	岩城 けい	集英社
第33回	H29	キジムナーkids	上原 正三	現代書館
第34回	H30	ペンギンは空を見上げる	八重野 統摩	東京創元社

●受賞者への取材について

電話取材を希望される場合は、株式会社東京創元社までご連絡ください。

◆連絡先

株式会社東京創元社 編集部 桂島（かつらじま） 様
電話 03-3268-8204

●書籍について

書籍が必要な場合、文化振興課（笠原・上林・山根）までお問い合わせください。

●受賞者の写真、書影について

受賞者の写真、書影データが必要な場合、文化振興課（笠原・上林・山根）までお問い合わせください。